



うるまの芸能が集う 春の芸術祭

3月26日、石川会館で市文化協会主催による「春の芸術祭」が開かれました。「うちそろて 高めらな うるま市の文化」をテーマに、市内17の道場などから会員が参加し、流派を超えた格調高い舞台で訪れた市民を魅了しました。



地元の青年会や、中学生らも総出。ユニークな面や、全身を墨で真黒にした中学生たちが印象的。

平安座の サンダグワチャー

旧暦3月3日の浜下りの日から3日間（3月31日～4月2日）、平安座区の伝統行事「サンダグワチャー」が行われました。

2日目のナカヌヒーには、集落内のチョウの浜で「トウダヌイユー」と呼ばれる儀式が行われ、献上された魚を踊りながらモリで突き刺し、豊漁を祈願。

その後、様々なお面を被った地元の青年会や中学生が、魚をかたどった御輿を担ぎ、平安座島の東方にあるナンザ岩に歩いて渡りました。

三線や太鼓とともに行列を成す姿はとてもユニークで、毎年各地から見物客が訪れています。



魚を突いたモリを肩に担ぎ、踊りながら今年の豊漁を祈願する「トウダヌイユー」